

あゆみ

ayumi



ごあいさつ

新入職員を迎えて、新しい力が新鮮な気持ちにさせてくれます。先輩職員も新入職員を見て、社会人になりたての自分を思い返してみるのもいいかもしれません。

さて、コロナ禍も丸2年が経過し、いままでの習慣や常識といったことも大きく変わってしまいました。あゆみえんでも感染拡大の波が押し寄せるたびに、緊張を強いられましたが、なんとか乗り越えてまいりました。今後も感染拡大への対応は続くものと思いますが、新しい考え方を採り入れ、より「快適なサービス」を提供できるようにしたいと思います。昨年度は試行錯誤の中、窓越しでの面会を行い、レクリエーションも感染防止を充分配慮したうえで花見ドライブや納涼祭、季節のイベント開催もできる範囲で実施してまいりました。

人と人の距離が遠くなったようにも感じますが、物理的な距離はあっても心の距離は縮めていきたい、そのためにいろいろと試していく新しいサービス創りの新年度だと思っています。これからもご指導・ご支援を変わらずお願いいたします。

園長 笛木昭宏

法人理念

「働き易い職場を創り、快適なサービスを提供する。」





あゆみ保育園だより



さわやかに吹く風の中、色とりどりの花が咲き、いよいよ春らしくなってきました。

この春入園する子どもたちは、はじめての園生活、はじめての先生、そしてお友達との出会いと「はじめて」がいっぱいです。これからお友達と一緒に、楽しいこと、嬉しいこと、悔しいこと、色々な思いを感じながら成長していくと思います。

そんな子どもたちの思いを受けとめ、一人ひとりが輝けるような保育園にしていきたいと思います。

あゆみ保育園 園長 濱中美穂



デイサービス センター

あゆみえんです!



厳しい寒さも治まりつつ、青梅も春らしい日差しを感じる季節となりました。先日みなさまと植えたデイサービスの畑に、スマイルとチューリップの花が咲きそうで春の訪れを感じています。

デイサービスでは2月の節分行事で鬼に仮装した職員に豆を投げて鬼退治をしたり、3月には制作レクリエーションで吊るし雛を作ったりと、季節を感じていただけるレクリエーションをご用意して参りました。

感染対策による制限で外出もなかなか希望通りには行きませんが、今年こそはみなさまと一緒にたくさんの外出をしていきたいと願っています。

4月からのデイサービスも元気に営業してまいります。

介護1課 金子知雄

羽村市在宅医療・介護連携 支援センター



あゆみえん在宅2課 地域包括支援センターあゆみでは羽村市より委託を受けて、在宅医療・介護連携支援センターを運営しています。医療や介護の両方を必要とする市民のみなさまが、住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを続けることができるよう、病院と地域の医療・介護関係者からの相談を受け連携をサポートすることで、市民のみなさまが必要な支援を受けられるよう様々な取り組みを実施しております。

みなさまは将来、自分や家族・大切な人が病気に罹ったり、介護が必要になった場合のことを考えたことはありますか？また、不安になったことはありませんか？

今般、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、地域の医療提供体制のひっ迫から入院ができず、適切な場所で必要な医療を受けられない状況も発生し、自宅療養を余儀なくされた事例も多くありました。「もしものこと」を考えておくことはとても大切です。

羽村市在宅医療・介護連携支援センター
(羽村市地域包括支援センターあゆみ内併設)
木住野雅之



具体的な取り組み

- ・地域医療・介護連携の課題抽出のためのアンケート実施
- ・ケアマネタイム・訪問看護ステーションリスト作成・発行
- ・羽村市在宅医療・介護連携推進協議会への参加
- ・公報掲載

ショートステイ



風船バレーを行ないました。

みなさま声をだし「そっち」「こっち」と笑顔で楽しんでいただけました。

現在は将棋やトランプなどのレクリエーションを行い、みなさまが楽しく過ごせるように心がけています。今後は何人かのグループ

を作り密にならない

ように配慮しながら調理レクリエーションも行っていきたいと考えています。

みなさまに楽しんでいただけるレクリエーションを考えていき、ショートステイの利用が楽しみだと思っていただけるように工夫していきたいと思っています。



介護2課 原実香子

EPA職員紹介!!

2月からEPA介護福祉士候補者7期生2名が入職しました。
2名とも日々一生懸命頑張っています。
彼達が働きやすい職場を創り、彼達と共にご利用者へ快適なサービスを提供していきたいと思ひます。
今後とも宜しくお願いいたします。



ユダ さん

介護3課

趣味はマンガを読むことです。休日は日本語を勉強したりマンガを読んだりして過ごしています。ご利用者と家族のように寄り添いながらケアをしていきたいと思ひます。よろしくお祈りいたします。



ジャラル さん

介護5課

趣味はバレーボールをすることと旅行をすることです。休日は日本語を勉強したり景色がキレイなところに散歩に行ったりしています。ご利用者に喜ばれるように、丁寧なケアを心がけていきたいです。よろしくお祈りいたします。

介護3課 課長 諸江光宣

青梅紹介

いかに 筏道

1603年徳川幕府が開かれ、江戸城や城下町の整備に必要な膨大な量の木材を賄ったのが、多摩川や荒川の上流の地域でした。多摩川上流の木材は「青梅材」と呼ばれ、筏に組まれて川を下り、河口近くの六郷村（現在の東京都大田区）まで運ばれました。現在、下奥多摩橋があるあたりの広い河原には、上流からの筏を組み直したり、木材を取引した「千ヶ瀬の筏会所」がありました。

筏乗りたちは途中拝島や立川、府中などに泊まりながら4日ほどかけて木材を輸送し、帰りはおよそ64kmを2日間で、徒歩で多摩川沿いにさかのぼりました。多摩川の危険な流れを下る筏師は収入が良く、粋で勇ましいと、当時の若者の憧れの職業だったようです。

筏による輸送は、大正末期ごろ鉄道やトラックに代わりましたが、筏師の通った道は筏道と呼ばれ、今も世田谷、府中などに残り、たどることができるようです。大田区から青梅市まで多摩川をさかのぼるコース、脚に自信のある方はチャレンジしてはいかがでしょうか。

総務課 福岡直子



あゆみえんインフォメーション

詳しいお問い合わせは、あゆみえん、相談課まで
電話 0428-30-5550

あゆみ VOL.103

発行 社会福祉法人 徳心会
特別養護老人ホーム あゆみえん 広報委員会
〒198-0024 青梅市新町9丁目2153番地3
TEL.0428-30-5550 FAX.0428-30-5570

発行人 園長 笛木昭宏
編集人 広報委員長 諸江光宣
発行日 令和4年4月15日
E-mail ayumien@tokushinkai.jp
HP https://tokushinkai.jp/



※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。
※撮影のため一部マスクをはずしております。

最近、青梅市役所に青梅の地名の由来になった将門誓いの梅が植樹されました。ご存じでしょうか。落果するまで実が青い、という不思議な梅です。

これは稚態保留という現象で、栃木の足利学校にも不断梅として同じ突然変異をした梅があるそうです。

今年は植樹されたばかりで、実をつけるかはわかりませんが楽しみにになりました。



介護5課 久保田萌奈